

学校 番号	62	学校名	松川 高等学校
----------	----	-----	---------

平成29年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会 【平成29年10月26日（木）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

1 中間報告

- ① 学校評価委員会より
 - ・「匿名性を担保した授業評価」アンケート、職員アンケート結果報告
- ② 進路指導係より
 - ・3年生の進路状況中間報告
- ③ 生徒指導係より
 - ・本年度のこれまでの生徒指導状況の報告
- ④ 各学年主任より
 - ・各学年生徒の現状などについて
- ⑤ その他
 - ・非違行為防止のための活動実施及び計画等報告書

2 生徒会取り組み報告

- ・本年度の生徒会活動について（生徒会役員による活動報告）
- ・新年度の生徒会三役紹介と生徒会活動への抱負（新役員）

3 意見交換

- ・中間報告、生徒会取り組み報告に関連して、各評議員よりご質問をいただき、意見交換をおこなった。

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- 1 生徒会活動や部活動をご理解いただくために、直に学校評議員の前で生徒会役員が直接活動状況の報告を行った。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- 1 進路先が決まると緩みがちになるとの話より、個人目標を持たせるため、ものづくりなどクリエイティブな授業を取り入れ、目標を持つことを習慣づけられるとよいのではないかと意見が出された。
- 2 学校では、精神面を鍛えることを目的とした取り組みはあるのかとの質問をいただき、例えば座禅など、人としての成長を促すものがあるとよいのではないかと意見が出された。
- 3 生徒会のしっかりとした発表から、生徒会行事を通してリーダーシップを育むよい活動をしていると評価していただいた。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- 1 本校生徒の成長のため、個人目標を持たせるための取り組みをさらに検討していく必要がある。また、身だしなみやマナー等は、家庭と学校の連携を密にして指導をしていくことが大切である。
- 2 生徒会の本年度活動へは好評の言葉をいただいた。今後も、仲間と協力し合って生徒会行事に取り組みせることで、社会でも通用する力をつけさせていきたい。
- 3 学校評議員7名中4名の出席で開催した。より多くの方が出席できる日程設定の工夫が必要である。